

岩手教区報

第397号

立教189年1月1日

天理教岩手教務支庁

盛岡市馬場町3-40

TEL 019-622-7962

FAX 019-623-9597



三年千日を台に年祭を迎えよう

岩手教区長 鈴木真彦



教祖140年祭

新年明けましておめでとうございます。昨年中は、岩手教区の上に温かいご尽力をいただき、誠にありがとうございました。年が改まり、いよいよ教祖140年祭の年を迎えました。顧みますれば、立教185年の秋季大祭において、真柱様より諭達第4号が發布され、翌年の春季大祭より三年千日の年祭活動が始まりました。岩手教区では、この年祭活動に何ができるのかを思案し練り合いを重ねた結果、それまでのコロナ禍でおちがえりが困難であった教会長をはじめ、ようばく、信者が共におちがえりに帰り、喜び勇んでいただくことが、教区内の全教会が心を一つにして年祭活動を進めることに繋がり、何よりも「ちばの理」をいただくことが大切ではないか、との思いに至りました。このような経緯から1年目に「全教会おちがえり」を実施し、さらに仕上げの年の昨年は、中田善亮表統領の「二人でも多くの人におちがえり」とのお話を受け、教区一丸となって年祭活動を勇んで勤め切らせていただきたいとの思いから、「岩手教区おちがえり」を実施させて頂きました。

また、年祭活動の歩みを進める上から、「ようばく一斉活動日」が全5回開催されました。これは、同じ土地所に住まうようばくが互いに励まし合い、勇ませ合つて、それぞれの年祭活動の更なる実践に繋げていくことを趣旨とした集いでした。1回目の自主プログラムは教区主導で実施しましたが、2回目以降は各支部で趣向を凝らした独自の自主プログラムが行われ、回を重ねるごとに支部の教友同士の繋がりが強まり、喜びのうちに終了となりました。

昨年の秋季大祭において真柱様は、「つとめたらつとめただけのご守護は現れてくるのであります。また、いましつかり動いたことは、これから先の歩みのための種蒔きであります。無駄になることはないのではありません」と話され、さらに「力いっぱいつとめたという充実感と喜びをもって年祭を迎えることができるように、最後まで勇んでおつとめ下さるようお願いいたします。」とお話し下さいました。

年祭までの活動期間は残り僅かですが、真柱様のお心に添わせて頂くべく、教区一手一つにつとめ切らせていただきたいと思います。そして、教祖年祭の年に相応しい教区活動をつとめて参りますので、教区管内の皆様にはより一層のお力添えをいただきますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

「挫折」



信仰随想

せい 晴天

北三陸分教会長 櫃割孝美

おたすけの失敗談です。私は28歳で入信し、父の突然の出直しにより29歳で教会長を継ぐことになりました。布教やおたすけの経験が一切なかったため、「3年間は単独布教師の精神でがむしゃらに動く」を心定めし、勇みに勇んで努めていました。

3年目に入った頃、ある30代のご婦人が心身症で悩んでいると聞いて、おたすけに運んでいました。心身に様々な症状が現れるため、6か所の病院の診察券を持ち、通院に明け暮れていました。おさづけの取り次ぎを心待ちにされていて、教会にも何度か参拝してくれましたが、症状に大きな変化をお見せ頂けず、しばらくたので、修養科を勧めてみました。しばらく固辞されましたが、「憩の家」という大きな病院があるので、しっかりと診察・治療を受けながら修養できると話し、やつ

と納得して頂きました。

しかし危惧していた修養科の面接で第3次まで行き、付き添いが必要となりました。急遽、私が残ることにしましたが、1か月が1年に感じるほど、おたすけの難しさを痛感させられた日々でした。

内科、婦人科、精神科など1日おきに通院、2、3日おきに深夜に頭痛、腹痛、足痛などを訴えておさづけを取り次ぎ、終えた後修練室で十二下りのお願いと週一で夜お墓に出掛け墓前で十二下り睡眠不足とひのきしんの疲れで、私もかなり参つていきました。

3か月目に入って彼女から「夕べ教祖が夢に現れて、真柱様への伝言を頼まれたから、真柱様宅へ連れて行ってくれ」と言われました。「我々は直接真柱様にお会い出来ないですよ」と返事を濁し、延ばしておりましたが、一人で押しかけたら大変なことになると、ヒヤヒヤしておりました。

間もなく、大教会で大事な行事があり、3日休んで帰って来いとの報せがきたので、その旨を伝えると「私は3か月で学ぶところを2か月で習得したから、一緒に帰ります」と言う。悩んだ末、一人残して真柱様宅に行かれては大変だからと思いい、結局残り3週間のところで辞退することになりました。

思えば、おちがえり向かう前に、心配する彼女の親や姉妹、親戚の人たちに「大丈夫です。必ずご守護頂いて帰ってきま

す」と宣言していた手前、大いに打ちひしがれた、つらい帰郷となりました。

教史には、辻忠作先生の妹くさんの精神障害のご守護話がありますが、精神疾患者のおたすけは、生半可なおたすけ心では成就することはないとの親神様の厳しいお仕込みと悟りました。

私はこの一件ですっかりおたすけへの自信を消失し、周囲へは気付かれないように勇んだ姿は見せていましたが、内心は悶々としてしばらく落ち込みました。

計報

権谷 一一 さん〔88歳〕

九戸支部・南平分教会前会長

令和7年12月18日出直された。

行事予定

【1月分】

16日 役員会議・予算地方委員会

17日 青年会例会(18時)

26日 教祖百四十年祭執行

31日 祭儀式勉強会(10時)

” 婦人会例会(10時)

祭儀式はわかぎ(中学生)がつとめ、
続いてのおつとめは座りづとめを教区役
員と教区団委員、よろづよ八首をわかぎ、
一・二下り目を三陸支部、三・四下り目を
県南支部、五・六下り目を九戸支部と二戸
支部、七・八下り目を盛岡支部、九・十下
り目を花巻支部、そして十一・十二下り目
を奥州支部がそれぞれ一手一つに勇んで
勤めた。

その後の式典では、少年会長様の御告
辞、高橋邦和・教区団長の挨拶に続き、全



少年会岩手教
区団は11月29日
(土)、教務支庁
を会場に「第52
回岩手教区団お
つとめ総会」を
開催、少年会員
30人(内わかぎ
7人)、育成会員
57人、計87人が
参加した。

「第52回少年会岩手教区団

おつとめ総会」報告



少年会

員で少年会員のちかいと少年会の歌を声
高らかに斉唱した。昼食後は、お楽しみ
行事としてゲームとビンゴで大いに盛り
上がり、少年会員の笑顔が溢れる喜びの
総会となった。

今回の総会に際して、総会の目的をご
理解下さり、多くの育成会員にもご参集
頂いたことを誌面をお借りして厚くお礼
申し上げます。



学生担当委員会

「育成に役立つ

プログラム研修会」報告

教区学生担当
委員会は11月30
日(日)、教務支
庁を会場に「育成
に役立つプログラ
ム研修会」を開
催、担当委員ら8
人が参加した。

学生担当委員
会より坂本勇人
委員とスタッフ



祭事部

「祭儀式勉強会」【1月31日】

教区祭事部は1月31日(土)、教務支庁
を会場に「祭儀式勉強会」を開催します。
今回は立式の告別式をはじめ、葬儀の
準備や神饌物の組み方など、経験の少な
い方にも参加しやすい内容になっています。

日 時	1月31日(土) 10時
内 容	告別式、葬儀の準備、神饌物 の組み方、他。
講 師	鈴木眞理・東山分教会長
参加費	千円(昼食代含む)
持ち物	はっぴ、杓板
申込み	1月15日教区へ切

「教祖140年祭」帰参案内



○年祭当日

- ・朝づとめ 7時00分
- ・祭典執行 10時30分
- ・夕づとめ 17時15分
- ・神殿おたすけ 14時30分受付
場所 神殿西お守所
- ・をびや許し、おまもり下附
8時〜9時30分/14時30分〜16時30分
場所 第2御用場
- ・別席、お誓い、基礎講座
年祭当日はありません。
- ・手荷物一時預かり所 8時〜16時
場所 三島公会堂
- ・記念建物 閉館
- ※昼食の「おにぎり弁当」を利用され
る方は、信者詰所へ事前にお申し込
み下さい。

○神饌受付(25日・26日)

教祖殿東側(回廊下)・インフォメー
ションセンター北側・第1食堂前・北
1駐車場 ※通常の受付もあります。

○教祖140年祭特別展示「おやさま」

1月24日〜27日(10時〜15時 於南右第
2棟) ※26日は14時30分〜16時30分

○おかえりコンサート(25日・26日)
会場 天理市民会館 15時開演

○休憩所(25日・26日)
第3御用場北側テント・第5食堂・東
右第1棟周辺テント・お茶所

※駐車場、交通規制、臨時バス等その他
の情報は「おちばがえり案内リーフレ
ット」、「教祖140年祭特設
ホームページ」(臨時ダイ
ヤ等随時更新)をご覧ください。



婦人会

「みちのだい育み塾」報告



葛西あゆみ 講師 教区婦人会は11
月16日(日)、教務
支庁に於いて「み
ちのだい育み塾」
を開催、婦人会員
ら84人が参加した。

午前10時に開会。はじめに参加者全員
で座りづとめをつとめさせて頂き、続い
て葛西あゆみ・青森教区婦人会主任(津
軽大教会長夫人)が「教祖ならどうなさ
るだろう」とのテーマで講演された。葛
西講師は教祖伝逸話編をもとに、教祖は
どのような思索をされたのか、ご自身の
経験を通してわかりやすくお話し下った。
質問タイムでは、参加者からの質疑に丁
寧にお答え頂き、実りある貴重な時間と
なった。

続いて、鈴木真喜・教区婦人会主任の挨拶があり、高橋泉・教区女子青年委員長
が女子青年の活動紹介を行った。昼食後
はミニバザーが開かれ、和やかで楽しい
ひとときを過ごし、午後1時解散となっ
た。

